

(様式第7号)

大阪府高校生留学支援金留学報告書

26年8月25日

学 校 名		支 援 金 交 付 年 度	
氏 名			
留 学 期 間	平成 26年1月27日 ~ 27年1月30日		
留 学 先	国 名	学校名	
	カナダ	Glace Bay High School	
専 攻			

留学中の生活、留学の成果、留学で得たことをどのように活かすか、これから留学する人へのアドバイス等について2000字以上で記入してください。

留学中の生活は、最初の方は、ホームシックになれるということが大変だったです。カナダ、ノバスコシア州のほしの方なので、海やみどりいっほいで自然の豊かな街です。

ホストファミリーがドライブにいっほいつれていっしてくるので、とても、気持ちよく、やもらえます。

食べ物は、海外という感じで、ハンバーガー、ポテト、ピザがたべこんでます。やはり日本食を食べれないことほづらが、たけれど、たまに、ホストファミリーに作ってもらって日本の食文化とふれあってもらいます。

英語はやはり、最初は聞きとる事さえできませんでした。

自分がいっていることが理解してもらえない時は、何度もあります。でも、伝わらなくてもあきらめない事。

言っただけなら書く方法があります。

聞きとれなくても、言えなくても、書いてもらい、書く事。

分かるようになるまで何度も、何度も。

私は写ります。理解していき事が進歩だと思ひ続けたいからです。

しかしながら、私はシャイです。「英語を話して理解してもらえなかったらどうしよう。」などと思ひ人がほこんどだと思ひます。

でもそんな時、「私は、外国人だ」と思ひようにしています。

私は、ここで生まれたわけではないし母国語は英語ではありません。

間違えるという事が学びの目的です。間違える事はできるだけしたくないし嫌だと思いません。でも挑戦をすること。それが第一歩です。

自分が言いたい事、書くにしたい事をまず頭で英語に変えなければならぬことがつらいと思いません。

うまく伝えられなかったり自分がいやになった事もあります。

「留学に来て、少しは成長したんだな」と思っていたけれど、自分の未熟さ、いたらないを本当に改めて感じました。そこに気付けた点では成長をしたのかと思いません。加えて、親の大切さ。食事に行く日や、買い物をする時、当たり前のように、自分が頼ります。「これまで、こんなにくい環境のお金を親が払ってくれたんだ」と常に痛感されます。

英語面は、たいして聞きとれるようになり、やはり語彙力がのびました。

文法面も伸ばしたいと考えているので、もっと勉強しなければなりません。

しかし、ホストファミリーとたくエンは話すこと。それはとても大切で、

コミュニケーションは重要です。ホストファミリーは基本的にフレンドリーで、よく話をしてくれたり、話してくれます。話すということがとても好きになりました。友達のように、楽しいです。

留学に来て、やはり、パーティーや、セレモニーがたくエんあります。ドレスを着たり、おどたり日本ではできない事ができます。

食べ物も、カロリーが高いので、ふとることは普通です。ドイツで生活しなくても日本に戻ると減ると思いません。初めの方はつらい留学も、自然と友達が増えてきます。不安もあるけれど、英語だけでなく、人間としても成長できるのが留学です。得たものは、たくエんあります。毎年平均まで「まだ」、成長できることが楽しみです。

卒業後、私は、国公立の大学に進みたいと思っています。

外国語学部がある所です。やはり、英語がもっと好きになったし、一生ふれたいからです。加えて、交換留学制度を利用し、もう一度留学したいと思っただけです。提携大学にはの母校があります。

やはり、昔から、英語の出来る父に勧められていますし、同じ大学にいてみたいという願望があります。

その為に、TOEFLなどのテストで高い点数を取りたいです。

今の勉強はしているけれど、取れるように、努力しなければなりません。努力するつもりです。大学にいて卒業したら、グラントスタッフや、英語を仕事として、海外で働けるようになりたいです。

大学の事までは、いまはしっかりしまっていきたいけれど、そういう仕事に就きたいです。

その為に今の留学生活を、充実させたと思えるように、日々日々がみれば、この年の半年を過ごしていきたいと思いません。

上記の内容については、公表される場合があることを了承します。  
(申請者が☑してください。)